みんなで描こう

協働のキャンバス 39

平成29年度南丹市市民提案型 まちづくり活動支援交付金

昨年度までに、南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金を活用して、地域の活性化や高齢者の孤立防止、世代間交流などをテーマに、235事業が実施されました。

8年目を迎える今年度は、26件の事業提案があり、うち半数が新規事業でした。

今回は、申請された事業の概要について紹介します。

※現在、実施に向けて調整中の団体もあります。

かやぶき民家に住むかやぶきの妖精です。緑を大切にし、人と人、人と自然をつないでくれます。

しかやぶきくん（初登場）

紹介の前に

しかやぶきくんのリクエストにお応えします ～まちづくり活動支援交付金とは～

人口減少や少子高齢化など、まちの課題の解決を目指す市民の皆さんが提案された事業を支援するため、対象経費の20万円を上限に、活動資金を交付するものです。交付を受けた団体は、最大3回の継続期間内に、課題の解決と合わせて、運営のノウハウをはじめとした組織力を高め、自立へのステップアップを図ります。

○交付対象事業

〈課題設定型事業〉
市が設定したテーマに基づき、市民団体が提案実施する事業

〈自由提案型事業〉
市民が気付いた社会的・地域的課題の解決に向け実施する事業

市民の皆さんの「地域の課題を何とかしたい」という気持ちを応援する制度なんだね。

課題設定型事業

「丹波猿楽（さるがく）梅若家（うめわかけ）」プロジェクト

課題：高齢化地域の活性化

急速な少子高齢化により過疎化が進む中、住民が地域に対する自信を喪失しており、若者の流出も止まらない。発祥の地として地域の誇りであった「梅若」に対する関心も薄れてきている中、住民に誇りを再認識していただき、「梅若ゆかりの地」として地域ブランドを高め、定住促進を目指す。

提案者：世木の伝統芸能を守る会

春日（かすが）の杜（もり）ふれあい公園 管理整備事業

課題：高齢化地域の活性化

住民の交流の場づくりだけではなく、新たな観光資源として、地域の公園「春日の杜ふれあい公園」の管理・整備作業を地元有志で行う。専門的な知識を持つ造園技能士から、草木の知識や管理方法を学ぶとともに、景観づくりを通して、地域の将来を考える機会とすることで、より住み良い地域環境の整備を行う。

提案者：村おこし創生塾

京都桑田村（くわだむら） 五十年プロジェクト

課題：高齢化地域の活性化

地域と大谷大学幼児教育保育科の学生とのこれまでの交流から、地域の文化を口伝ではなく冊子化することの必要性を感じ、大学と地域で構成する合同編集委員会を立ち上げ冊子の作成を行う。冊子は学生が教員になった際に役立つように、子どもの遊びを中心にまとめ、学生の正規授業での副読本としての活用も検討する。

提案者：NPO法人　京都桑田村

自由提案型事業

福居（ふくい）元気の素：はす池プロジェクト

地域活動や交流の機会が少なくなっている中、世代や地域を超えた交流の機会を作る必要がある。

地域内の休耕田に管理作業が比較的簡単なハスを植栽し、鑑賞会や写真撮影会などを実施することで、美しい景観を保つとともに、多くの住民が福居地域に興味関心を持ち、一丸となって地域の活性化に取り組む環境をつくる。

提案者：福居元気の素発見隊の会

田舎の暮らしを楽しもうプロジェクト

少子化、高齢化が進み地域住民のつながりが薄らいできている。過去には区運営の売店があり交流の場となっていたことから、地区公民館を活用して、月1回程度のカフェ開設と併せて、ミニコンサートやフリーマーケット、手芸、手品、お話会などさまざまな催しを行い、交流の機会を提供することで、地域の活性化を図る。

提案者：田舎の暮らしを楽しもう会

志和賀（しわが）区環境美化推進プロジェクト

少子高齢化の進行により地域活力の減退が懸念される。また、広域農道開通後、ゴミの投棄が増え、環境が悪化している。そのゴミは区役員が回収してきたが、区・市・警察の連名で「ごみ捨て厳禁」看板設置を通じて地域住民が一丸となって「捨てさせない」攻めの取り組みを実施し、地域の美化と活性化を図る。

提案者：志和賀区

丹波街道アートプロジェクト -アート作品「草刈の塔」の制作・展示プロジェクト-

身の回りにあり、古くなったら捨てられるだけの刈払機の刃に着目。地域の方の協力によって、集めた古い刈払機の刃で鉄製モニュメントを制作。

丹波街道をアートでつなぎ、観光振興による地域の活性化を目指して、本事業により園部町埴生（はぶ）にモニュメントの設置を行う。

提案者：丹波街道アートプロジェクト

地域の文化財史資料保存継承の取り組み -旧岩崎革也邸（いわさきかくや）に残された文化財史資料の保存継承-

空き家の増加や工事により取り壊される家屋に残る貴重な歴史的資料が失われている現状がある。その保存継承の緊急性と重要性を発信するために、日本の初期社会主義の支援者として著名な岩崎革也氏に関する研究の過程と成果を活用した講演会を実施し、資料の喪失防止と保存を図る。

提案者：京都丹波岩崎革也研究会

しょうがプロジェクト八木

生産者の高齢化や獣害により耕作放棄地の増加が課題となっている。高齢者でも栽培しやすく、獣害も少なく、また健康食品としても需要のあるショウガに着目し、市内先進地への視察やほ場の巡回視察のほか、ショウガを使った加工品の試作を行い、特産化を目指す。

提案者：しょうがプロジェクト八木

南丹市地域魅力創造写真公募展

南丹市は市名の認知度が低いという課題があるが、景色の素晴らしい場所や観光スポットが数多くあることから、魅力的な風景などを写真でPRし、認知度向上と魅力の発信を行うため、公募による写真展を開催し、市外からの来訪者の増加や定住促進につなげる。

提案者：ワタリドリ写真部

八木綿復活プロジェクト

八木地域の旧小学校を活用して、「八木綿」の栽培・収穫・綿繰りなどを行う。地元の高齢者、親子など幅広い世代の多くの方に糸紡ぎ作業を体験してもらうことで交流の機会を作るとともに、糸紡ぎの担い手育成、収穫した種を小学校に寄贈するなどの普及活動も行い、八木綿の糸や特産品づくりについても検討する。

提案者：八木綿復活研究室

子育て支援ボランティア「すくすくやぎっこ」

少子化や核家族化の進行に伴い、幼い子どもを持つ親同士や、子育て経験者らが交流する機会が少なくなり、育児にストレスを感じる親が増えている。地域ぐるみで子育てを支え、安心して子育てができるように、幼い子どもを持つ親同士や子育て経験者との交流の機会づくりを行い、親のストレスケアの取り組みを実施する。

提案者：子育て支援ボランティア「すくすくやぎっこ」

山の恵みを活かす薪暖（まきだん）ライフの普及

全国的に課題となっている山の荒廃とともに、自然エネルギー源となり得る「山の恵み」がありながら生かされていない。自然エネルギーの利用方法の提案と併せて山の手入れ方法などを市内外から参加者を募り、普及の取り組みを行うことにより、環境、林業、観光の面からの地域振興を目指す。

提案者：山の恵みと暮らす会

季節限定型 交流コンテンツ開発事業

栃餅・なれ寿司といった特産品や、音谷（おとだに）の滝、天然杉やブナの大木から成る原生林など、多くの地域資源が存在する美山町洞区を会場に、同じく地域資源の一つであるホタルを活用し、観賞会を開催できるよう、散策道の整備を行う。

イベント実施に際しては地域内の宿泊事業者と提携し、新たな交流コンテンツの開発に取り組む。

提案者：洞区

サスティナブル・アグリ・コミュニティー（※）の創設

高齢化や過疎化に伴う労働力不足による耕作放棄を防ぐため、地域の豊かな自然に関心を持つ都市住民から「労働力」を得る。地域はその「お礼」として、都市住民に地域資源や活動場所、安心安全な地域の農産物を提供する。地域住民と都市住民が、相互利益の関係を築く取り組みを実施する。

提案者：ＮＰＯ法人　丹波ネット

※サスティナブル・アグリ・コミュニティー…長期間継続して農業に取り組むことのできる共同体

あおいよぞら

子どもたちを犯罪から守り、地域内の防犯意識を高めるために、防犯効果があるとされる青色のＬＥＤイルミネーションを地域住民に貸与し、住宅の木やフェンスなどに設置してもらう。

２年目の活動となる今回は、講師を招いての防犯グッズ作成教室の開催や南丹警察署の協力の下、有効な設置個所の検討を行う。

提案者：CuiCui（キュイキュイ）

「南丹市の歴史を学ぶ」プロジェクト

南丹市には誇るべき歴史がありながら認知度が低く、観光資源として生かせていない。市内の中高生を対象にした歴史講座や一般向けの歴史巡回教室の開催、ボランティアガイド養成を通じて、市民に対して南丹市の魅力の再認識と市外への魅力発信など、観光資源を生かすための取り組みを行う。

提案者：南丹市歴史探勝会

鳥羽（とば）地区の歴史研究と歴史看板

先人から受け継いできた地域の歴史を後世に伝えるために、自分たちの住む鳥羽地区の歴史を調査研究し、住民自らが誇りを持てるようにするとともに、「吉富（よしとみ）の庄（しょう）まつり」などのイベントで、調べた歴史のレポートや立て看板を見ていただくことにより、地域内外の方に歴史的魅力を発信し、新たな観光資源づくりにつなげる。

提案者：鳥羽自治会

読書推進ボランティア育成プロジェクト

物語や文字に親しむことは、子どもたちの豊かな心を育む上で非常に重要と考え、伝え手となる大人たちが良い本を見極める感性を磨き、読み聞かせに必要となるスキル（技術）を身に付けるための講座を開催する。

今年度事業の最終回には、講座で培った技術の発表の場として「おはなし会」を開催する。

提案者：南丹市読書ボランティア連絡会

つながろう女性の輪

多くの女性の意見を取り入れるため、市内で活動する女性を中心とした団体間交流を目的としたイベント「つながろう女性の輪」を開催するとともに、定期的な体験講座「子どもと一緒につくりましょう」を行うなど、子育て世代の女性にも参加していただきやすいイベントを企画し、世代を超えた女性の緩やかなつながりづくりを行う。

提案者：南丹市女性会

"山里の記憶!" 継承プロジェクト

しめ縄や栃もち、鯖のなれ寿司など、地域に伝わる多くの伝統工芸品・伝統食の継承が課題となっている。

これらを継承する取り組みを行ってきたが、未来を担う小中学生に継承することも重要であり、これまでの取り組みに加えて小中学生に重点を置いた体験教室を開催し、継承を進める。

提案者：美山町鶴ヶ岡振興会

まるごと鶴ヶ岡体験ツアープロジェクト

アユの友釣りや稲木干し、のこぎりを使った人工林の間伐など、鶴ヶ岡地域内の里山資源を活用したモデルツアーを実施する。

また、ＳＮＳ（※）を活用し、イベント終了後も定期的に鶴ヶ岡の情報を伝え、地域への興味を喚起することで、「鶴ヶ岡ファン」を増やし、将来的な移住・定住につなげる。

提案者：ムラガーレ食堂

※Ｆａｃｅｂｏｏｋなどの会員制交流サイト

社会参加を応援する料理教室を主とした居場所

障がいや引きこもりなど、社会参加の機会が少ない方々を主な対象にした料理教室を開催する。今年度は、南丹保健所の出張講義を受け、地域の農家などに食べてもらえるようなランチメニューを考案する。「どんな料理を作れば喜んでもらえるか」を参加者同士で話し合い、調理する中で、達成感や自信の醸成につなげ、和やかに集まることのできる場を提供する。

提案者：ハートフルクッキング

南丹藍活（あいかつ）プロジェクト

市内では、農業従事者の高齢化により耕作放棄地が増加している。これを食い止めるため、地域住民と協力して耕作放棄地で藍を育てるとともに、育てた藍を活用して布や糸を染めるワークショップを行うことで、「ものづくり」の楽しさを広め、ものづくりの意欲を持つ人材を集めて新たな賑わいの創出を図る。

提案者：南丹藍活プロジェクト実行委員会

豊かな地域づくり ～つながりと支え合いの出来る地域を目指して～

隣近所のつながりの希薄化が危惧される中で、今後の高齢化社会を乗り越えるため、老若男女が参加できる地域イベントを展開し、連帯感の醸成と集落の維持発展を図る。

また、関係団体と協力して西田の地域資源の写真を集め、冊子を作成することで、地域の誇りや魅力の再発見を目指す。

提案者：西田の活性化を考える会

関西地域の大学生・留学生の国際交流里山合宿in日吉

小中学生を始めとする学生らが多様な文化・言語・国籍の人々と交流する機会を増やすため、関西地域の大学生・留学生を日吉に招待し、「国際料理体験会」や地域住民を交えての運動会など、交流事業を実施する。イベントの開催にあたり、地域住民と学生が企画段階から協力して取り組むことで、学生が主体となった地域活性化と地域外の方とのネットワーク構築を目指す。

提案者：里山Global（グローバル） Exchange（エクスチェンジ）

市民活動団体交流会を開催します

日頃からまちづくり活動に取り組まれている皆さんの交流や、新たな出会い、学び、発想など、「新たな何か」を発見できるかもしれません。

まちづくり活動に関心のある方は、ぜひご参加ください。

日時　7月22日（土）
　　午後1時30分から
会場　南丹市役所本庁
　　３０１会議室